



2022年7月27日

各 位

SB Technology

会社名 SBテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 阿多 親市
(コード番号 4726 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 岡崎 正明
(TEL 03-6892-3063)

中期経営計画の概要に関するお知らせ

当社は、2023年3月期から2025年3月期を対象とした中期経営計画の概要について、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上



SB Technology

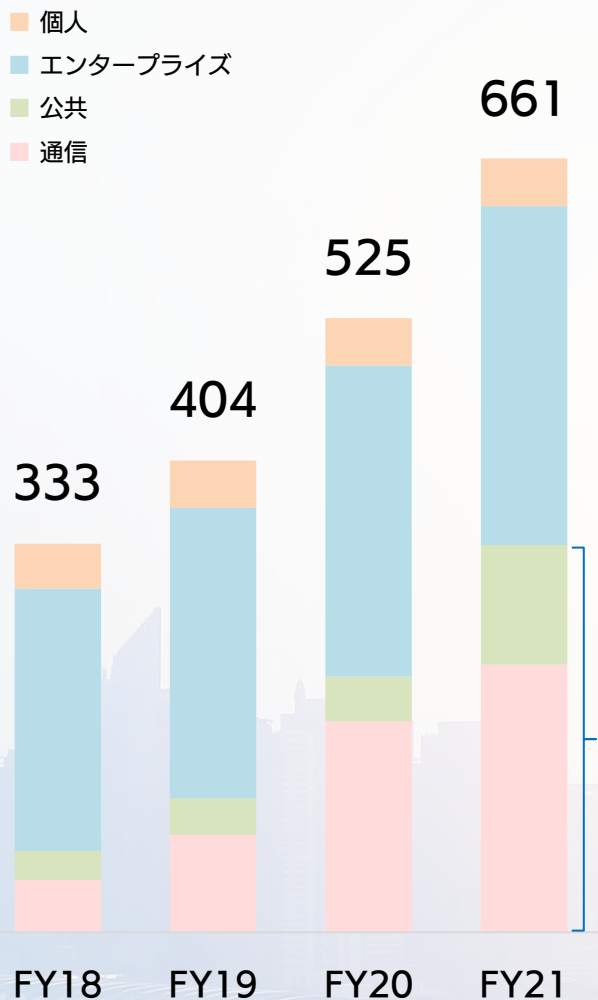
2023年3月期

第4次中期経営計画

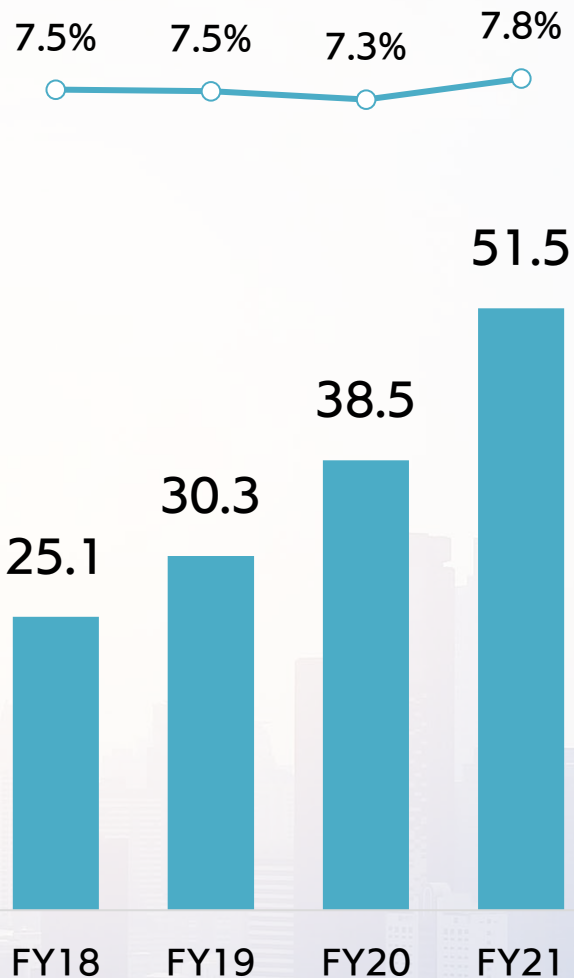


第3次中期経営計画における変化

マーケット別売上高推移*



営業利益/利益率推移



実施してきたこと

- ベンダーマネジメント案件で面を拡大し、パートナー企業とのリレーションを強化
- パートナー企業との連携により公共領域を拡大
- 新たな事業ポートフォリオ (公共ビジネス) を確立

得られたもの

- パートナー数の拡大 (800名→3,000名超)
- プラットフォーム型ビジネスでのローコード&IT教育サービス
- 417自治体との取引

*過去から「収益認識基準に関する会計基準」を適用していたとみなした場合

「個」としてのアイデンティティー



高い技術力を武器に
クラウド・セキュリティに注力

ソフトバンクグループの一員



DXを推進する仲間
グループ企業群とのシナジー

責任ある社会の一員として

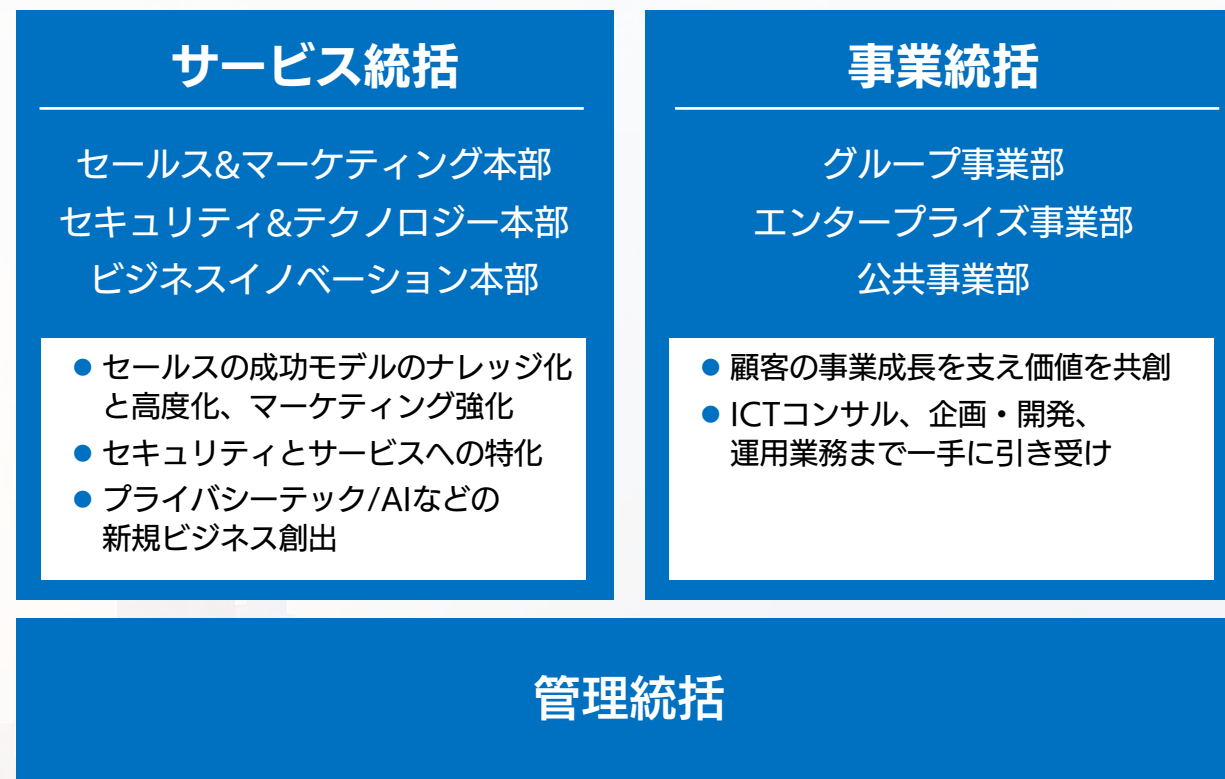


サステナビリティ
ガバナンス / 持続可能性

～FY21 事業部制組織



FY22～ 新組織体制



事業部制の良さは残しながらも、顧客との接点やサービスを強化

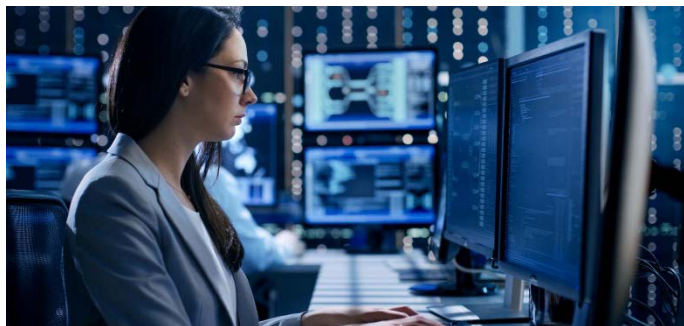
FY24 経営指標

1. 営業利益 80億円
2. 営業利益率 9%台
3. クラウド・セキュリティ&サービス 売上高 500億円超

重点テーマ

押し上げる力

顧客のDXを支援する
セキュリティ&運用サービスの提供



引き上げる力

顧客の変革を実現する
データを活用した共創型DXの推進

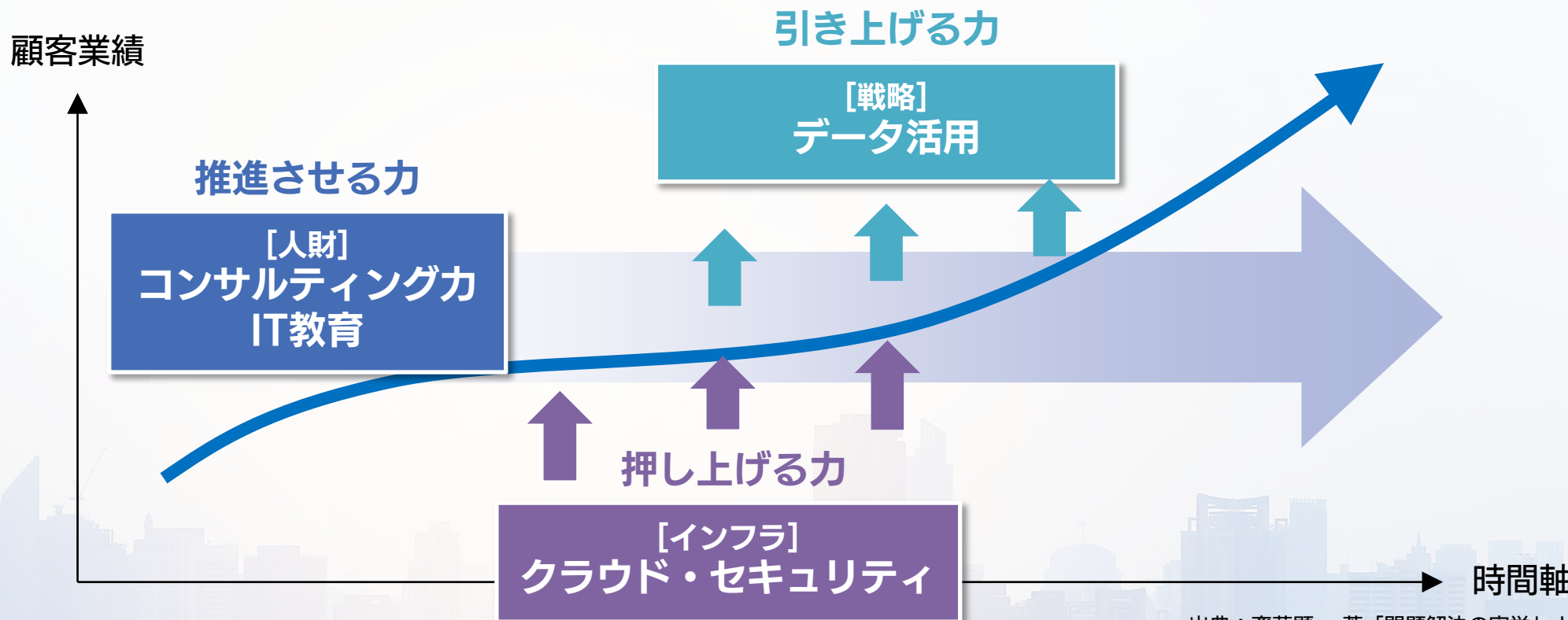


推進させる力

DX人材の育成・創出のための
コンサルティング&IT教育



顧客のDX推進には、企業を支えるインフラ基盤の整備と
そのうえでデータの活用とDXを推進し続けられる人材が必須



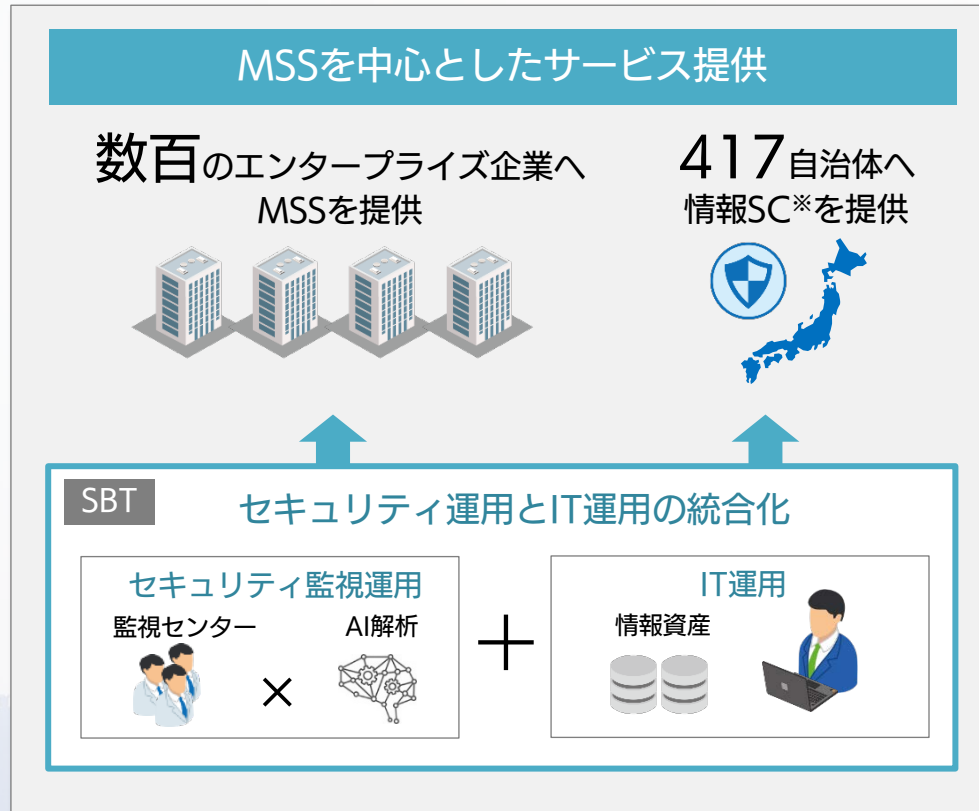
出典：齊藤頭一 著「問題解決の実学」より当社にて作成

顧客の競争力強化に向け寄り添い、3つの力でDX化をフルサポート

セキュアで顧客の生産性を向上させるサービスの提供

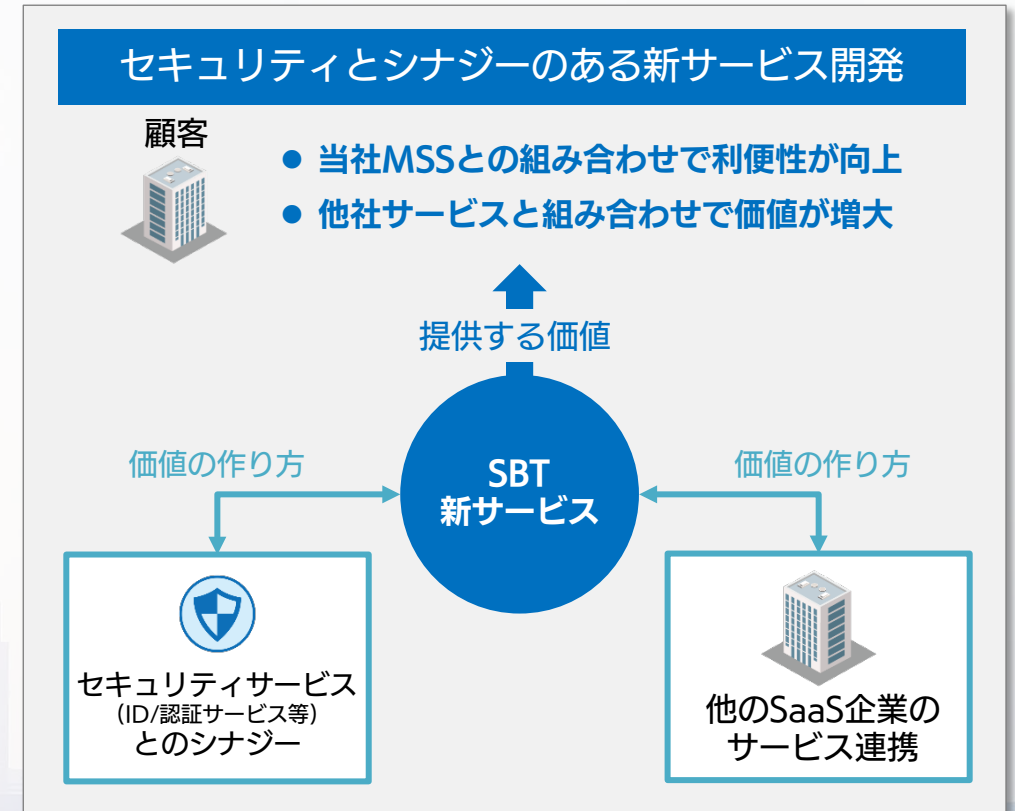
セキュリティを中心に顧客のDXを押し上げるサービスを開発・提供

押し上げる力



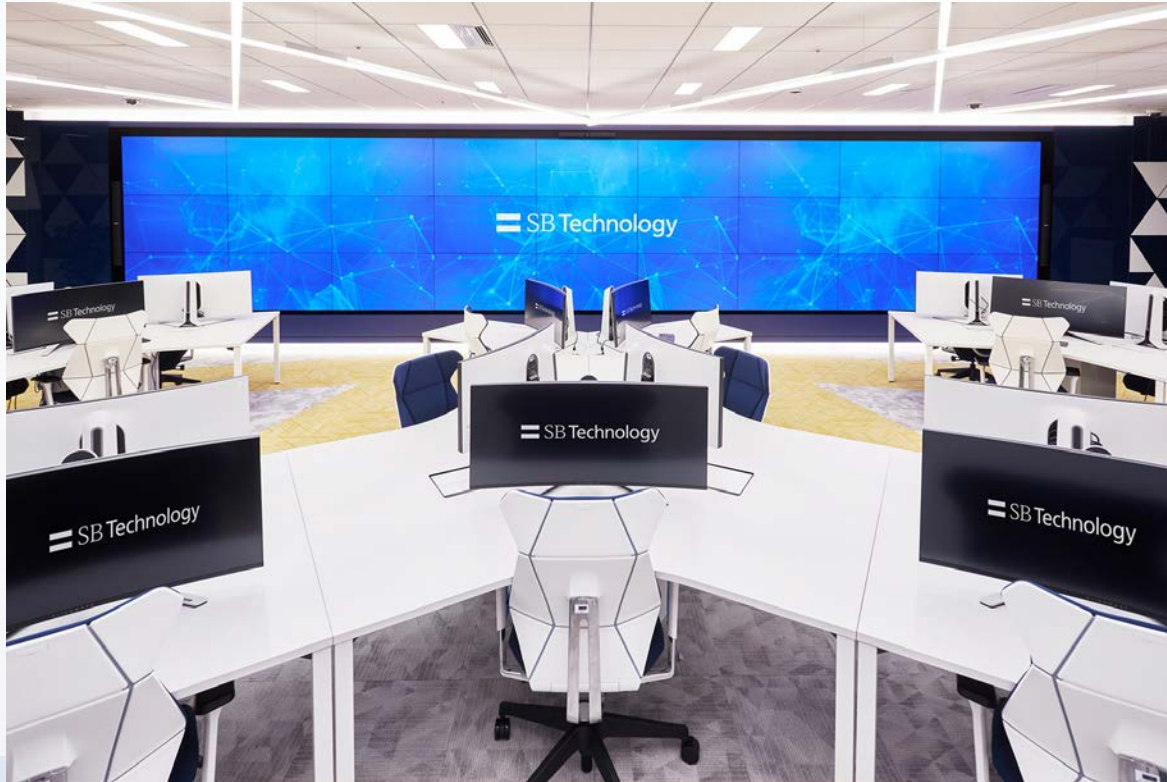
※セキュリティクラウドの略称

+



MSSを軸に顧客の生産性向上に寄与し、新たな収益基盤の構築へ

2022年7月にセキュリティ監視センターをリニューアル



リニューアル背景

- **セキュリティ監視需要の増加**
 - テレワーク環境を狙ったサイバー攻撃の増加
 - サイバー攻撃の高度化/複雑化
- **企業のセキュリティ人材の不足**

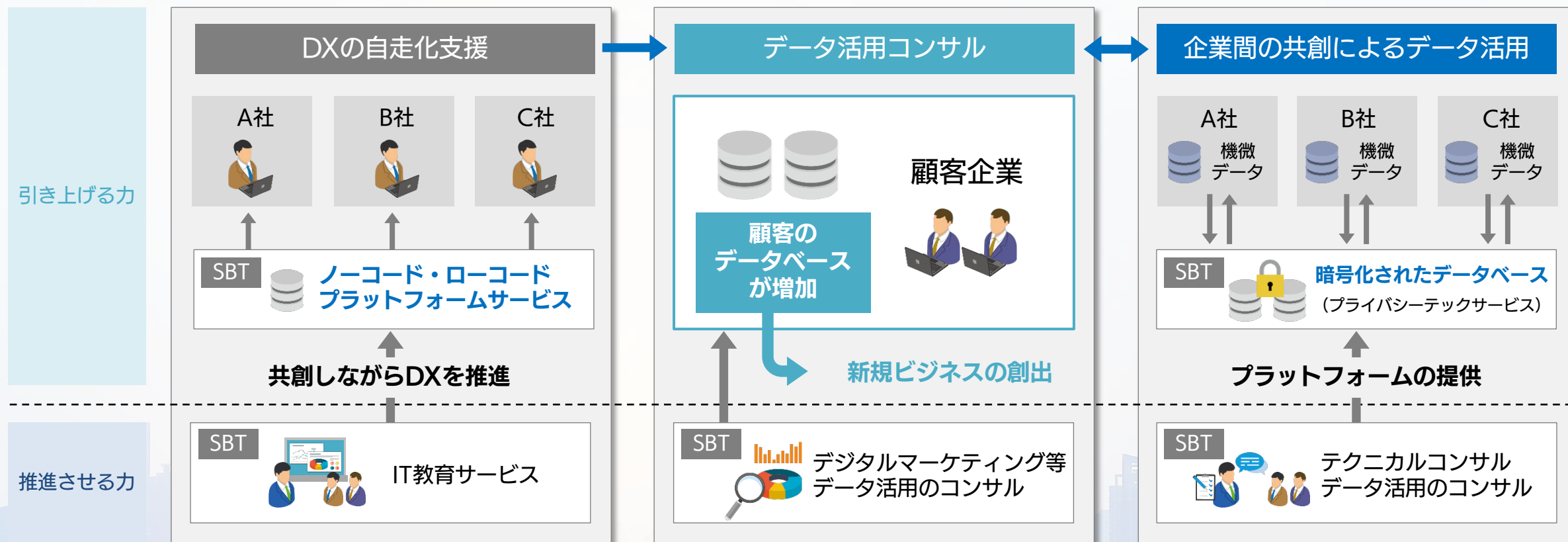
リニューアルのポイント

- 延べ床面積を既存設備の2倍に拡張
- セキュリティアナリストを80名→150名規模へ
- グローバルなど他の監視拠点との連携強化

セキュリティ需要の増加に備えて、監視センターを2倍に拡張

顧客の変革を実現するデータを活用した共創型DXの推進 DX人材の育成・創出のためのコンサルティング&IT教育

引き上げる力と推進させる力を掛け合わせて、顧客のDXを支援



コンサル&IT教育によるDX推進と、データ関連ビジネスが拡大

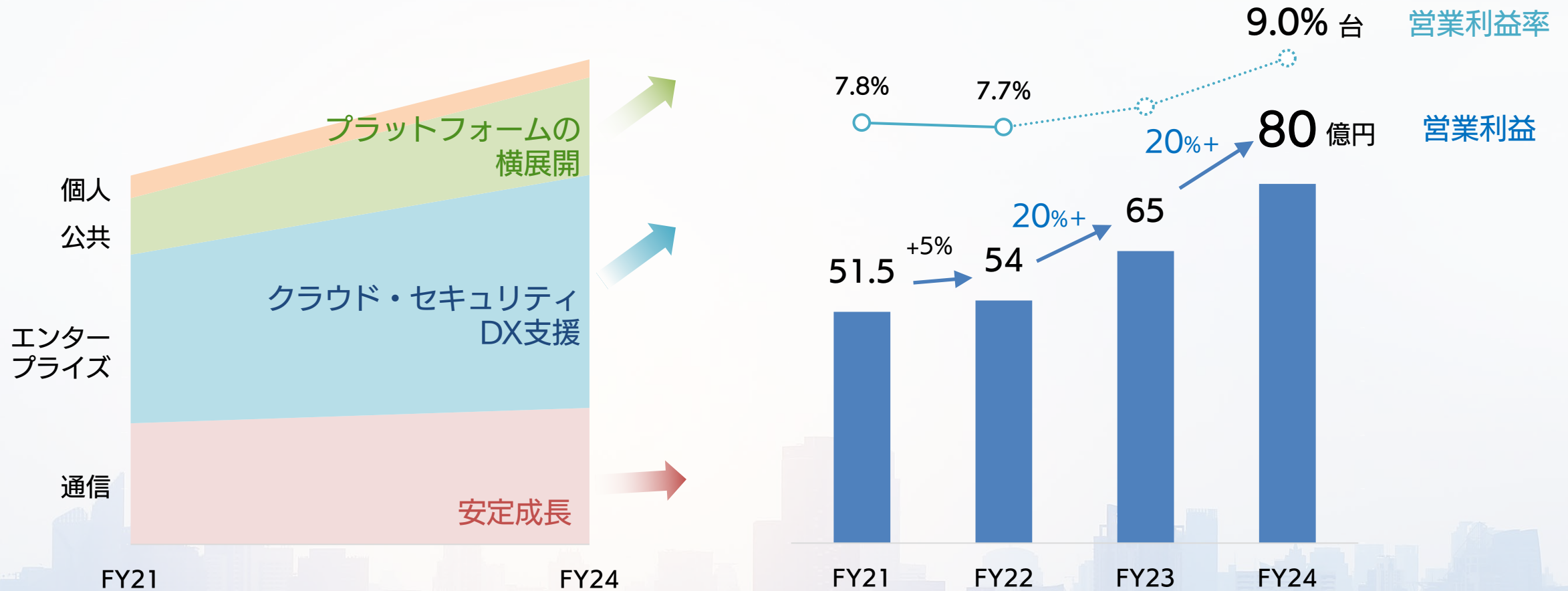
Modis株式会社と7/19に業務提携契約を締結



IT人材ならびに質の高いIT教育支援を確保

第4次中期経営計画の推移

SB Technology



エンタープライズ/公共の伸びにより、営業利益80億、営業利益率9%台を目指す

1. 営業利益 80億円

2. 営業利益率 9%台

3. クラウド・セキュリティ&サービス
売上高 500億円超

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**





情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、
お客さまの価値創造に貢献します。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、
透明で公正な情報開示をします。



次世代育成、情報セキュリティの強化、
災害対策・復興支援などを通じて、
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、
誠実な事業活動を行います。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、
取引先との公正な取引関係を築きます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

カーボンニュートラル宣言

SBテクノロジーは2030年までに
「温室効果ガス排出量実質ゼロ」を実現します

- TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言への賛同を表明
- お客様のクラウド活用を推進するなどテクノロジーの活用により、脱炭素社会の実現へ貢献



資料留意事項

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 前連結会計年度より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology